8月
例会

「市民おもしろ塾」

江戸時代後期の日本・秋田へタイムトラベル

「菅江真澄が見た能代山本」

第177回

講師：松山　修（元秋田県立博物館学芸職員）

日時：令和8年8月22日（土）13:30～15:30

会場：能代市中央公民館 2階 第五研修室

雌雄のハタハタ
（秋田県立博物館蔵写本より）

ホームページ
QRコード

Facebook
QRコード

費　用
会　員：200円
非会員：300円

お問い合わせ

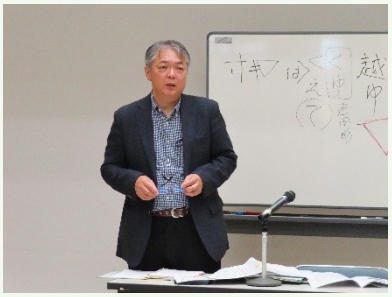
市民おもしろ塾　事務局
TEL　090-7792-1293

松山　修 先生（元秋田県立博物館学芸職員）

■プロフィール
小学校教員として、比内町・男鹿市・秋田市で 11 年間勤務。平成 9 年（1997）、開設 2 年目の菅江真澄資料センター担当として県立博物館に赴任した。以降、再任用を含めて 25 年間勤務した。退職 5 年目となった今年度も、県立博物館で引き続き「真澄に学ぶ教室・講読会」（年 10 回開催）を担当するほか、資料整理などのボランティアをおこなっている。

■主担当として開催した企画展
・1998 年企画展「菅江真澄没後 170 年遺墨資料展～きらめきのとき～」
・2006 年企画展「開設十周年展～真澄の肖像」（秋田の先覚記念室との共同展）
・2008 年企画展「あきた遺産　菅江真澄～没後 180 年記念展」
・2014 年特別展「菅江真澄、旅のまなざし」
・2018 年企画展「菅江真澄、記憶のかたち～没後 190 年記念展」
・2020 年企画展「重要文化財「菅江真澄遊覧記」の公開」
・2022 年企画展「深澤多市―郷土研究と真澄研究の偉業―」

「菅江真澄、旅のまなざし」展示風景（2014）


講演会で真澄の記録を語る（2021、大仙市中仙）

＊今回講演会「菅江真澄が見た能代山本」について

「菅江真澄の道」の標柱が県内約 400 箇所に立つことからもわかるように、江戸時代後期の秋田のようすを知るには、菅江真澄（1754～1829）の記録は欠かせません。講演の前半では、三河生まれである真澄の旅の足跡と著作の特徴をお話しし、後半では、真澄が書き写した「山本郡名物往来」を手がかりにして、能代山本地域に関する記録を色彩豊かな図絵を交えて紹介します。

巡回展での展示解説
（2017、大館市立栗盛記念図書館）

しらかみ地の塩基金様から「地域貢献団体」として表彰されました（令和８年３月 14 日）

活動を評価していただきありがとうございます。
今後とも「おもしろく」「分かりやすくためになる」そして「時代が求めるもの」を多彩なテーマで提供したいと思います。

しらかみ地の塩基金　代表　丹波　望氏（右）と
市民おもしろ塾　渡邊耕佑　代表